

自分の体を把握して、病気を予防

# 健康診査を受けましょう

最近お腹のぽっこりが気になってきたという方、腹団はメタボリック症候群の判定基準の一つです。

メタボリック症候群とは、内臓脂肪の蓄積に加えて、高血圧・高血糖・脂質異常などが複数重なっている状態をいいます。自

覚症状はありませんが、メタボリック症候群を放置しておくと生活習慣病に発展し、生活習慣病が悪化すると脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こす危険もあります。

健康な毎日を過ごすため、健康診査を受けて自分の体の状態を把握しましょう。



年2回の定期的な健康診査と毎日の運動は欠かさないという遠藤さん(写真左端)

む市民のグループ「健康クラブ」の会長です。市が実施している特定健康診査のほか、かんなどの健診を毎年欠かさず受けています。

健康クラブではメタボリック症候群の予防をはじめ、介護予防や頭の体操など、元気な毎日を過ごすための活動をしていま

す。市の保健師からアドバイスや研修を受けるなどして、積極的に健康づくりに取り組んでいます。この日も約40人が集まり、ストレッチやダンベル体操などをしました。

健康クラブに参加するようになり、体調が良くなったり膝の痛みが治つたりしたと喜ぶ会員もいます。

「会員には、自分たちの支払う社会保険料を上げたくない

なければ、まずは自分自身で健康に気を付けるようになんて言つて

いるんですよ。もちろん健康診査の受診も勤めています。また、へ

## 自分の健康状態を知ろう

病気になる人もいるのが現状です。生活習慣病にはメタボリック症候群が深く関係していますが、市民病院の看護師によると「見た目は標準体型でも、コレステロールの値など、見えないところに異常がある方もあります」ということ。腹団が基準値以下で、メタボリック症候群には該当しないという方も、一度自分の生活习惯を振り返ってみましょう。

市では特定健診介(次項)のほか、健康教室など皆さんの健康づくりの手助けをしています。また、へ

## 健康診査と運動で健康維持

「健康診査を受けると自分の健康状態が分かるので安心できますね」と笑顔で話す遠藤さん。

遠藤さんは、健康づくりに取り組

む市民のグループ「健康クラブ」の会長です。市が実施している特定健康診査のほか、かんなどの健診を毎年欠かさず受けています。

健康クラブではメタボリック症候群の予防をはじめ、介護予防や頭の体操など、元気な毎日を過ごすための活動をしていま

す。市の保健師からアドバイスや研修を受けるなどして、積極的に健康づくりに取り組んでいます。この日も約40人が集まり、ストレッチやダンベル体操などをしました。

健康クラブに参加するようになり、体調が良くなったり膝の痛みが治つたりしたと喜ぶ会員もいます。

「会員には、自分たちの支払う社会保険料を上げたくない

なければ、まずは自分自身で健康に気を付けるようになんて言つて

いるんですよ。もちろん健康診査の受診も勤めています。また、へ

# 「メタボ」予防!

## STEP 1 腹囲

メタボリック症候群かどうか、チェックしてみましょう

- ①普通に呼吸をし、息をはき続わたったところで盛りを読んでもらう
- ②腹部を計測しましょう。

①へその高さで水平に巻き尺を当ててもらう

下着などは着用せずに、直接腹部を計測しましょう。



お腹が突き出でていておへそが下の方にあるときは、ろつ骨の下縁の部分と骨盤の出っ張ったところの中間をきつく締めないように測ります。

## STEP 2 血糖など

- 脂質異常中性脂肪150mg/dL以上、またはHDLcが110mg/dL以上またはHbA1cが5.5%以上
- 高血糖(空腹時)の血糖値が110mg/dL以上、またはHbA1cが5.7%以上
- ローリル値40mg/dL以上未満
- 高血压(最高血圧が130mmHg以上、または最低血圧が85mmHg以上)